

## 評価シート①

### 大項目「教育委員会の活動状況」

中項目	点検内容	活動指標	元年度	2年度	比較増減	自己評価結果
(1)教育委員会の構成	①構成数	人	5	5	0	適正な規模を維持している。
	②年齢別	歳	62	61	△ 1	(各年度12月23日現在)
	③男女比率	男性 女性 (%)	60 40	60 40	0	適正な規模を維持している。
(2)教育委員会会議の開催状況	①会議開催数	回	26	26	0	教育委員会会議規則で毎月22日に定例会を開催する規定に則り、毎月1回(年12回)の定例教育委員会は開催できた。 なお、前期教育委員会及び定例教育委員会の日程以外に、緊急に会議を開催する機会が多かつたが、適切な段階で検討・意思決定を行うことができた。
	②延出席数(教育長除く)	人	104	104	0	延出席数の増は、開催回数の増によるものである。1回あたりの平均出席はR2 4.00人(R1 4.00人)であり、委員はすべての会議に出席しており問題はない。
	③教育委員会開催における運営上の工夫	/			0	説明に時間を要する案件の資料の事前送付、また、前期教育委員会をテーマを持った勉強会としたことによって、議論の活性化をはかることができた。
(3)教育委員会会議の情報公開の状況	①会議傍聴数	人	3	0	△ 3	令和2年度は傍聴者数0であった。今後も、会議開催時間や場所を工夫し、参加しやすい環境づくりに努めたい。
	②議事(要)録の公表	件	12	12	0	令和2年度も引き続き遅滞なく議事録を公表することができた。

## 評価シート①

中項目	点検内容	活動指標	元年度	2年度	比較増減	自己評価結果
(4)行政等が主催する行事への出席数(教育長除く)	①参加回数	回	126	37	△ 89	行政等が主催する行事に対して、出席努力・自主判断の区分をしている。前年度から89回減となり、活動量としては、昨年度より29%程度減少している。これは、行政行事が新型コロナウイルス感染症拡大の影響から中止されたことが主な理由である。
(5)議会出席状況	①議会の出席状況(教育長除く)	回	0	0	0	27年8月から新教育委員会制度に移行したことで、議会への出席ができなくなったため、教育長以外の委員の出席はなかった。しかし、定例会ごとの一般質問等の質疑内容について、直近の定例教育委員会で報告しており、委員、事務局間で情報の共有はできている。
(6)首長との連携	①意見交換会の状況	人	8	8	0	改正地教行法に則り、総合教育会議として公式行事の形で開催した。2回の会議に延べ8名の出席で、全員が参加している。このことは教育委員としての役割を十分果たしているものと考える。
(7)教育委員の自己研鑽	①研修会等への参加状況	回	129	50	△ 79	研修に関し、出席努力・自主判断の区分をしている。自主判断による研修への参加回数は前年度から79回減となり、活動量としては、昨年度より39%程度減少している。これは、研修会等が新型コロナウイルス感染症拡大の影響から中止されたことが主な理由である。
(8)学校訪問	①学校訪問(A) 訪問率	%	78.6	85.0	6	学校訪問(A)については延べ40名の出席努力数に対し、34名と欠席することがあった。しかし、校長に異動があったり、新たな取り組みを行う学校について、どのような学校運営をしているのかなどの状況把握を目的に、本来出席努力としていない学校訪問(B)にも、積極的に参加している。
(9)教育に関連する外部団体等との意見交換	①意見交換等回数	回	49	19	△ 30	市P連や教育会等、本市教育行政の推進に重要な役割を果たしている団体を中心に、意見交換を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から中止されたものが多かったが、幼児・家庭教育や発達障害に関する会議等、幅広い分野との意見交換を行うことができた。